

砂地における大玉スイカの無加温暮れ出し栽培技術	
<p>[要約]</p> <p>鹿島南部地帯で11月下旬～12月上旬収穫の大玉スイカを栽培したところ、1果重は3000g程度で糖度10～11度、食味も良好となった。栽培適品種は果実肥大が良好だった「紅大」, 「縞王マックスKE」, 「富士光TR」であり、整枝方法は2本整枝-1果着果、3本整枝-1果着果が優れた。</p>	
農業総合センター 鹿島地帯特産指導所	
キーワード	スイカ, ピーマンリンサク, ヨクセイサイバイ

### 1. 背景・ねらい

産地ではピーマンのPMMoV (TMV-p) 防除対策として輪作を推奨しているが、経済性に見合う作物が少ないため、普及が遅れているのが現状である。そこで端境期で単価が高く有利性が期待できるスイカの暮れ出し栽培の技術を確立し、輪作のための選定作物とする。

### 2. 成果の内容・特徴

1) 全体的な傾向として果実品質は1果重が2500～3000g前後で糖度は10～11度であった。夏期収穫のものとは比べ果肉色はやや薄くなるものの、食味はシャリ感、甘みがあり同等であった。適品種は果実肥大の良かった「紅大」, 「縞王マックスKE」, 「富士光TR」であった。(表1)

2) 播種時期は8月17日以降のものは1果重や果肉色が劣ったため、限界日は17日前後と考えられた。又、播種限界日以前であれば播種時期の違いによる生育、品質の差は殆ど見られなかった。果実の成熟日数は55～60日であった。(表2)

3) 整枝方法は2本整枝-1果着果, 3本整枝-1果着果が果実肥大も良好であったが、4本整枝-2果着果は果実肥大の不足や未着果があった。(表3)

4) 株間は2本整枝-40cm区以外は果実が2500g以上となった。2本整枝では株間が広がると果実が肥大する傾向にあり、3本整枝でははっきりしなかった。(表4)

### 3. 成果の活用面・留意点

1) 当成績は鹿島南部地帯でのフッ素系硬質フィルムハウスの試験であるため施設の種類や地域の違いにより播種時期等の注意が必要である。又、元肥は1.0-1.3-0.7(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>Okg/a)で追肥は生育にあわせ適時液肥で行った。(H13年で1.4-0.6-0.6(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>Okg/a))

2) ピーマンの輪作作物として利用する場合、抑制ピーマンに比べ収益が落ちる可能性が高いので注意する。

4. 具体的データ

表1 品種による果実品質の違い

年	品 種 名	開花日	収穫日	成熟日数	1果重 g	果実の大きさcm		果形比	果皮厚 mm	糖度 %	果肉色	果梗長 mm	着果節位	食味
		月.日	月.日	日		たて	よこ							
平成10年	編王マックスKE	10.7	12.7	61	3520	18.7	17.8	1.05	8.7	11.6	やや薄	6.8	22.3	普通
	編王促成1号	10.5	12.4	60	2763	17.5	16.5	1.06	8.7	12.0	薄	7.6	16.3	やや良
	富士光TR	10.5	12.4	60	3125	18.0	17.2	1.05	8.2	11.6	やや濃	6.7	17.7	やや劣
	紅大	10.5	12.5	61	3150	18.1	17.4	1.04	9.4	11.5	やや薄	7.4	18.2	普通
	夏誉	10.4	12.3	60	2746	18.0	17.4	1.03	10.9	11.2	やや濃	5.8	17.1	やや劣
	太鼓判	10.6	12.4	59	2539	17.5	16.3	1.07	9.5	11.9	やや濃	7.5	17.7	普通
	早生天竜	9.25	11.18	54	2861	19.3	17.6	1.10	9	10.3	同等	7.1	22.6	やや劣
天竜2号	10.6	12.5	60	2593	16.5	16.2	1.02	7.9	11.4	(基準)	6.6	19.7	(基準)	
平成11年	編王マックスKE	9.22	11.18	57	3010	18.7	17.9	1.04	10	10.8	同等	6.0	18.7	同等
	富士光TR	9.24	11.18	55	2945	18.3	17.4	1.05	9	10.7	同等	4.2	20.0	やや良
	ファインエースSF	9.23	11.18	56	2997	18.1	17.7	1.02	8	11.3	同等	6.5	18.2	同等
	祭りばやし	9.24	11.19	56	2763	17.8	17.1	1.04	7	10.5	やや濃	5.8	20.4	やや劣
	早生日章	9.25	11.18	54	2785	19.0	17.7	1.07	9	10.2	やや薄	6.1	18.4	やや劣
	紅大	9.24	11.19	56	3067	18.6	17.6	1.06	9	10.6	同等	6.6	20.3	やや良
	瑞祥	9.26	11.19	54	2622	18.4	17.0	1.08	9	10.9	同等	5.7	20.6	やや劣
天竜2号	9.23	11.18	56	3055	18.9	17.8	1.06	10	10.9	(基準)	5.1	19.5	(基準)	

(注) 果形比: たて/よこ 糖度: Brix 果肉色: 薄(1)~同等(3)~濃(5)の5段階評価 食味: 劣(1)~同等(3)~良(5)の5段階評価

表2 播種時期による果実品質の違い(平成13年)

播種日	収穫日	開花日	成熟日数 日	1果重 g	果実の大きさ			果形比 縦/横	果皮厚 mm	果肉色	糖度 %	果梗長 mm	着果節
					縦	横	縦/横						
8/10播き	11月21日	9月28日	53.9	2849	179.0	179.2	1.0	13.7	3.1	10.7	54.0	16.8	
8/13播き	11月27日	10月4日	53.6	2580	174.4	167.4	1.0	12.1	2.7	10.5	69.2	15.0	
8/17播き	12月1日	10月8日	53.6	2548	171.2	167.9	1.0	12.2	2.7	10.6	46.2	13.8	
8/21播き	12月7日	10月13日	54.5	2205	160.3	159.2	1.0	12.4	2.7	10.8	79.4	13.5	
8/24播き	12月12日	10月18日	55.0	2393	161.8	163.0	1.0	12.5	2.2	10.9	60.5	15.3	
8/28播き	12月19日	10月25日	55.1	1784	148.3	150.5	1.0	15.3	2.2	11.1	57.2	13.2	
8/31播き	12月26日	11月1日	55.0	1341	138.0	138.8	1.0	15.8	1.8	10.5	50.6	10.8	

(注) 品種 紅大

表3 整枝方法の違いによる果実品質の違い(平成12年)

試験区	開花日	収穫日	成熟日数 日	1果重 g	果実の大きさcm		果形比	果皮厚 mm	糖度 %	果梗長 mm	着果節位	備考
					たて	よこ						
①主枝2本仕立て	10.3	12.2	60	2733	17.5	17.1	1.02	9	11.5	9.5	24.8	
②主枝3本仕立て	10.4	12.4	61	2940	18.0	17.5	1.03	7	11.3	11.6	25.3	
③主枝4本仕立て	10.3	12.2	60	2430	17.0	16.4	1.04	8	10.4	7.8	24.6	1果着果割合40%

(注) 果形比: たて/よこ 糖度: Brix 品種 紅大 播種日 8/14

表4 株間の違いによる果実品質の違い(平成13年)

整枝方法	株間	収穫日	着果日	成熟日数 日	1果重 g	果実の大きさ			果形比 縦/横	果皮厚 mm	肉色	糖度 %	果梗長 mm	着果節
						縦	横	縦/横						
2本整枝	40cm	11月27日	10月6日	52.8	2300	165.8	161.8	1.0	10.8	2.3	10.6	90.6	18.8	
	45cm	11月27日	10月4日	53.6	2580	174.4	167.4	1.0	12.1	2.7	10.5	69.2	15.0	
	50cm	11月26日	10月4日	53.4	2724	176.4	170.2	1.0	11.2	3.1	10.0	84.5	18.1	
3本整枝	40cm	11月27日	10月6日	52.2	3129	186.1	176.5	1.1	12.2	2.8	11.0	98.2	21.2	
	45cm	11月28日	10月6日	53.0	2578	173.6	168.2	1.1	11.2	2.6	10.8	90.1	19.9	
	50cm	11月30日	10月6日	54.4	2556	170.0	169.4	1.0	12.9	2.1	11.0	82.2	18.3	

(注) 品種 紅大 播種日 8/14

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

砂地における大玉スイカの無加温暮れ出し栽培技術の確立・平成10~13年・鹿島地帯特産指導所